



6月は春と夏の変り目である『梅雨』の時期です。園では、子ども達の体を守るために、尿検査、内科検診、歯科検診といった健康診断を行っています。湿度や気温が上昇するこの時期、子どもたちが健康やかに過ごせるようにも心掛けていきたいと思ひます。

### 【園小中一貫教育について】

こども園の園児は必ず小学生、中学生となり成長していきます。子ども達の将来を見据え連携していくことは、子ども達を見守る中でも重要なことです。6月の一貫教育の取り組みは、園小中合同避難訓練の実施、日南小学校、日南中学校の授業研究会への参加があります。関係機関の職員が合同で研修し、一貫教育目標「ふるさとに学び夢に向かい生き生きと輝く子どもの育成」を目指していきます。


### 【体操服の変更について】

今年度より体操服は「白Tシャツと半ズボン」を利用します。体操服の意義は、運動しやすい服装ととらえ、購入しやすさも考慮し変更しました。

※白Tシャツが必要な方にはカタログ等準備します。

※体操服を購入されている方は引き続きご利用ください。

園長 長谷部 弥生

共育(ともいく)  
コーナー 

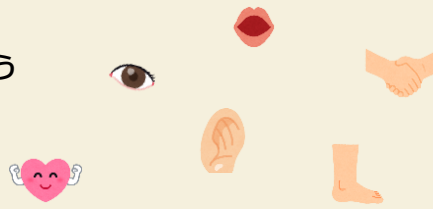


理念: 共存共栄と感謝 を  
一緒に分かり合おう の巻

今回は「5つの誓い」についてのお話です。腰塚勇人(こしづかはやと)さんという人がいらっしやいます。中学校の教師だった腰塚さんは、スキーで転倒した際に首の骨を折り、一生寝たきりの宣告を受けたものの、4か月で現場に復帰され「奇跡の復活」を遂げた人です。全国で『命の授業』や『気持ちの授業』を行っていることで有名な方で、腰塚さんを絶望の淵から救ってくれたのは、家族や友人をはじめとする周囲の人たちの力だったと言ひます。

園でも子どもたちと一緒に、腰塚さんの誓われた5つに向き合っ、一緒に考えています。子どもたちは本当に素直で、スツと心に届いていき、自分の言葉で語ってくれます。ご家庭でも是非、一緒に話したり、対話のきっかけにしてみられませんか。

- ① 口は 人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おう
- ② 目は 人のよいところを見るために使おう
- ③ 耳は 人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう
- ④ 手足は 人を助けるために使おう
- ⑤ 心は 人の痛みがわかるために使おう



参考文献 ※ 腰塚勇人 「命の授業」 ダイヤモンド社、2010